

一 次の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(4)の文中の傍線を付けた漢字の読み方を書きなさい。また、(5)～(8)の文中の傍線を付けたカタカナを漢字になおし、解答欄の枠内に書きなさい。ただし、漢字は楷書で、大きくていねいに書くこと。

- (1) 友人を自宅に招く。
- (2) チームを優勝へと導く。
- (3) 太古の人々の暮らし。
- (4) 清涼な山の空気を。
- (5) シタしい友人と話す。
- (6) 熱心にハタラク。
- (7) 明日のソウチョウに出席する。
- (8) 笑顔でセッキヤクする。

2 次のうち、返り点にしたがって読むと「言は行を顧み、行は言を顧みる。」の読み方になる漢文はどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 言_レ顧_ミ行_ハ、行_ハ顧_ミ言_ハ。
- イ 言_レ顧_ミ行_ハ、行_ハ顧_ミ言_ハ。
- ウ 言_レ顧_ミ行_ハ、行_ハ顧_ミ言_ハ。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

からえか控を慮配への掲載者でま著現時お
て

I
著者への配慮から
現時点での掲載を控えております。

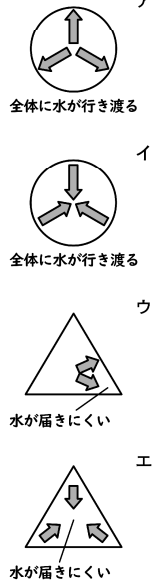
1 次のうち、本文中の①に入れるのに最も適していることはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア そのうえ イ そのため ウ それとも

2 次のうち、カサゲが笠の材料に適している理由として、本文中で述べられていることがらと内容の合うものはどれか。最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア カサゲはどの方向にも曲がり、よくしなるから。
イ カサゲの茎は頑丈であり、繊維が丈夫であるから。
ウ カサゲは繊維が豊富であり、紙の原料にもなるから。

3 次のうち、本文中のIで示した箇所ですべられている、多くのカヤツリグサ科の植物の茎の特徴を表した図として最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。なお、図中の矢印は水が移動する様子を表している。



4 本文中で筆者は、カサゲの茎で作った笠のどのような点が優れていると述べているか。その内容についてまとめた次の文のaに入る内容を、本文中のことは使って十字以上、十五字以内で書きなさい。また、bに入れるのに最も適しているひとつづきのことを、本文中から六字で抜き出さなさい。

カサゲの茎で作った笠は、笠の内側まで a うえに、隙間があいているので b という点。

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

からえか控を慮配への掲載者でま著現時お
て

1 ①を現代かなづかいになおして、すべてひらがなで書きなさい。

2 ②とあるが、次のうち、このことを言った人物として最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 連阿 イ 友どち ウ 翁

3 次のうち、本文中で述べられていることがらと内容の合うものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア たくさんの荷物を持って武蔵野にきた連阿に対して、翁は「今年は武蔵野で月を見ることができないようだ」と言った。
イ 武蔵野の月を見ようと思って江戸から来た連阿に対して、翁は「江戸に月がないことを今まで知らなかった」と言った。
ウ 道に迷いつつもわざわざ江戸にきた連阿に対して、翁は「武蔵野の月も江戸の月も同じ月だと知らなかったのか」と言った。

著作権者への配慮から
現時点での掲載を控えております。

2 とあるが、次のうち、「鉛筆」という熟語の構成について説明したものとして最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 前の漢字があとの漢字を修飾している。
 イ 似た意味をもつ漢字を組み合わせている。
 ウ 反対の意味をもつ漢字を組み合わせている。
 エ あとの漢字が前の漢字の目的や対象を示している。

3 とあるが、本文において、これはどのようなことを表した表現か。その内容についてまとめた次の文の□に入る内容を、本文中のことばを使って十字以内で書きなさい。

ひらがなやカタカナなど、どのような文字で書き表すかによって、鉛筆の
 ということ。

4

筆者がこのように述べる理由を次のようにまとめた。

a	b
---	---

入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、それぞれ本文中から抜き出しなさい。ただし、a は十五字、b は十六字で抜き出し、それぞれ最初の七字を書きなさい。

とあるが、本文中で

○鉛筆は、
a であり、筆圧をかけることに気をとられること
なく、頭に浮かぶ言葉をつかまえることに力を注ぐことが
できるから。
○鉛筆は、浮かぶ言葉の流れを湧きだしてくれる筆記具
であり、鉛筆を削ると心が研ぎすまされ、削ったあとの削り口
を見ると、鉛筆が生まれてくるから。

5 次のうち、本文中で述べられていることがらと内容の合うものはどれか
一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア鉛筆の筆感、ボールペンや一部のシャープペンシルと同じで、紙面について「横の流れ」ですべらせる筆感である。

イ 鉛筆は、何本あっても嬉しいものであり、子供の頃から長い付き合いを続けてきた「考える仲間」のようなものといえる。

ウ　鉛筆を削るときの音や削りかすの心地良い香りは、初めて自分の鉛筆を手にしたときのなつかしい気持ちを思い起こさせる。

工 鉛筆を使って書きすすめていくと、自分の心情の変化とシンクロしていくかのように、描線を彫りこんでいく筆感が変化していく。

五 次のAとCのうち、コミュニケーションにおいてあなたが最も大切にしたいと思うことはどれですか。あとの条件1と3にしたがって、あなたの考えを別の原稿用紙に書きなさい。

A 人と会ったり別れたりする時にあいさつをすること

B 人の話を聞く時に相づちを打ったりうなずいたりすること

C 人と話す時に相手や場面に合わせた言葉づかいをすること

条件1 AとCのいずれか一つを選ぶこと。

条件2 条件1で選んだものについて、最も大切にしたいと思う理由を書くこと。

条件3 百八十字以内で書くこと。

※ 三つの内容をそれぞれA、B、Cと表してもよい。

著作権者への配慮から
現時点での掲載を控えております。

1^A 机とあるが、次のア・エの傍線を付けたカタカナを漢字になおしたとき、「机」と部首が同じになるものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 冒ケンの旅に出る。
イ 全国カク地で展不会を開く
エ テントの支チュウを立てる。
ウ 東京の近コウに住む。

イ 全国カク地で展示会を開く。
エ テントの支チユウを立てる。

一次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から
現時点での掲載を控えております。

著作権者への配慮から
現時点での掲載を控えております。

1 本文中ののと同じはたらきをしている「の」を含む一文を次から一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 寒さがやわらいで春の気配を感じる。
イ この花は公園に咲いているのと同じ花だ。
ウ まるで宝石のような星が夜空に輝いている。
エ その美術館には有名な画家の描いた絵がある。

2 とあるが、本文において、これはどのようなことを表した表現か。その内容についてまとめた次の文のに入る内容を、本文中のこばを使って十二字以内で書きなさい。
ひらがなやカタカナなど、どのような文字で書き表すかによって、ということ。

3 次のうち、本文中で述べられていることがらと内容の合うものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 鉛筆を削るとききの音や削りかすから感じられる心地良い香りは、初めて自分の鉛筆を手にしたときのなつかしい気持ちを思い起こさせる。
イ 黒鉛をのせて書く鉛筆の筆感とパソコンのキー入力の感触は似ているが、パソコンは入力する動作の最中に考えが消えてしまいそうになる。
ウ 鉛筆を使って書きすすめていくと、自分の心情の変化とシンクロしていくかのように、紙に描線を彫りこんでいく筆感が刻々と変化していく。
エ 鉛筆には、紙面の凹凸が黒鉛を削りとりていく筆感があり、ボールペンや一部のシャープペンシルには、紙に描線を彫りこんでいく筆感がある。

4 とあるが、のような鉛筆について、本文中で筆者が述べている内容を次のようにまとめた。a、bに入れるのに最も適しているひとつづきのこばを、それぞれ本文中から抜き出しなさい。ただし、aは十七字、bは十六字で抜き出し、それぞれ初めの五字を書きなさい。

- 鉛筆は、思考の流れをさまたげない筆記具であり、筆圧をかけることに気をとられることなく、a ことに力を注ぐことができる。
○ 鉛筆は、次の思考の流れを湧きだしてくれる筆記具であり、鉛筆を削ると心が研ぎすまされ、削ったあとの削り口を見ると b が生まれてくる。

二次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

配慮の
おの
へ点
え
者時
控
権現
を。
作ら
載す
著か
掲ま

1 とあるが、次のうち、このこばの本文中での意味として最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア とんでもない イ 考えるまでもない
ウ あとかたもない エ どうしようもない

2 とあるが、次のうち、人々が不思議に思ったことの内容として本文中で述べられているものはどれか。最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 二、三日たっても翁の様子がいつもと変わらなかったこと。
イ 翁が真心をこめて育ててきた牡丹の花がなくなっていたこと。
ウ されいに咲きそろうていた牡丹の花を翁が捨ててしまったこと。
エ 翁の好きな牡丹の花が知らない間にたくさん植えられていたこと。

3 を現代かなづかいになおして、すべてひらがなで書きなさい。

4 次のうち、本文中で述べられていることがらと内容の合うものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア ある人が言ったことにに対して翁は、「楽をすることはいくらでもできるが、それは結果的に自分のためにならない」と言った。
イ 牡丹の花が枯れていたことについて翁は、「新たに花を植えることはたやすいことだが、元通りになるわけではない」と言った。
ウ 牡丹の花が折られていたことにに対して翁は、「楽しむために花を植えるのだから、そのために腹を立てることはない」と言った。
エ 不注意で牡丹の花を折ってしまった翁は、「花が育つのをいつも楽しみにしていたが、こうなるぐらいならもう育てない」と言った。

配慮の
おの
へ点
え
者時
控
権現
を。
作ら
載す
著か
掲ま

三 次の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(4)の文中の傍線を付けた漢字の読み方を書きなさい。また、(5)～(8)の文中の傍線を付けたカタカナを漢字になおし、解答欄の枠内に書きなさい。ただし、漢字は楷書で、大きくていねいに書くこと。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| (1) 傾斜のゆるやかな坂。 | (2) 一点差で惜敗した。 |
| (3) 世界記録に挑む。 | (4) 腰を据えて物事に取り組む。 |
| (5) 毎日力かかず散歩する。 | (6) 成功を信じてウタガわない。 |
| (7) 笑顔でセツキヤクする。 | (8) ピアノをエンソウする。 |

2 次のうち、「装飾」と熟語の構成が同じものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 疾走 イ 到着 ウ 撮影 エ 抑揚

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著者への配慮から、
著作権者の掲載を控えています。

I

著者への配慮から、
著作権者の掲載を控えています。

1 あるが、本文中で筆者がこのように述べる理由を次のようにまとめた。

- | | |
|---|--|
| a | b |
| 、 | に入れるのに最も適しているひとつづきのことを、それぞれ本文中から抜き出さない。ただし、a は八字、b は九字で抜き出し、それぞれ初めの五字を書きなさい。 |

AI創作の素材となるデータは、今までに作られてきたり、AIによる創作物は、素材となるデータに込められた組み合わせで出力されるものであるから。

2 次のうち、本文中のIで示した箇所の、本文中での役割を説明したものとして最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 前段で述べた内容を受けて、AI創作に関する筆者の考えの根拠となる事例を並べて述べることで、論の妥当性を主張している。
- イ 前段で述べた内容を受けて、AIが出力する創作物に対する社会的風潮をとりあげることで、筆者の論の独自性を強調している。
- ウ 前段で述べた内容を受けて、人間による芸術作品の選出や評価の難しさを説明することで、筆者の論旨を理解しやすくしている。
- エ 前段で述べた内容を受けて、AIが社会に与える影響と解決すべきAI時代の新たな課題を示すことで、論の展開を図っている。

3 とあるが、本文中で筆者は、創作をするにあたり、商業的に売れた電子書籍を分析することでのようなことが可能になると述べているか。その内容についてまとめた次の文の□に入る内容を、本文中のことを使って五十字以上、六十字以内で書きなさい。

□

4 次のうち、AI創作が近未来に与える文化的影響について、本文中で述べられていることから内容の合うものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア AIを駆使した創作が増えることで、人々の興味や関心を反映した斬新な作品をAIが創り出すようになるが、その一方で、商業主義的な成功ばかりを追求したアーチストが出現する可能性がある。
- イ AIを駆使することで、よくある典型的なパターンの抽出にもとづく平凡な作品が増えてしまうが、その一方で、陳腐な表現パターンで巧みに人々を感動させるアーチストが出現する可能性がある。
- ウ AIを駆使した創作が増えていくと、創作物の表現が固定化・硬直化しやすくなってしまいが、その一方で、AIの創作方法を逆手にとり、斬新な表現を探し求めるアーチストが出現する可能性がある。
- エ AIを駆使すると、社会のトレンドをとらえた商業的な創作活動をおこなうことができるが、その一方で、AIを利用することから離れて距離をとり、斬新な創作をするアーチストが出現する可能性がある。

5 ある中学校の生徒会では、「一人一人が積極的にあいさつをして気持ちよく学校生活を送る」という【目標】を実現するために、次のA、Bの二つの【標語】が提案されました。あなたは、AとBのどちらの標語が目標を実現するのに効果的な標語だと考えますか。あなたの考えを別の原稿用紙に二百六十字以内で書きなさい。ただし、あとの条件1・2にしたがって書くこと。

【目標】

一人一人が積極的にあいさつをして気持ちよく学校生活を送る

【標語】

A 届けよう 元気なあいさつ 始めよう すてきな一日

B おはようの そのひとことで 笑顔あふれる

条件1 A、Bのどちらか一つを選ぶこと。

条件2 条件1で選んだ標語が、目標を実現するのに効果的な標語だと考える理由を書くこと。

※ 二つの標語をそれぞれA、Bと表してもよい。

一次の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(3)の文中の傍線を付けた漢字の読み方を書きなさい。また、(4)～(6)の文中の傍線を付けたカタカナを漢字になおし、解答欄の枠内に書きなさい。ただし、漢字は楷書で、大きくていいに書くこと。

- (1) 花の芳香が部屋に漂う。
- (2) 腰を据えて物事に取り組む。
- (3) 鳥が羽を繕う。
- (4) 計画をタグちに実行する。
- (5) ピアノをエンソウする。
- (6) 恩師へのシャジを述べる。

2 「人の短を道ふこと無かれ、己の長を説くこと無かれ。」の読み方になるように、次の文に返り点を付けなさい。

無道人短、無説己之長。

二次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

配慮の
おの
で
へ
点
え
者
時
控
権
現
を
著
か
掲
ま

著作権者への配慮から
現時点での掲載を控えております。

三次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

1 次のうち、本文中の①に入れるのに最も適していることばはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 感情の量を調整して盛り込む
- イ 端的に自分の感情を表現する
- ウ 感情の量を調整して盛り込む
- エ 感情を歌の器に盛り込まない

2 とあるが、本文中の㉔で示した歌がどのようにして作られたかについて、本文中で筆者が述べている内容を次のようにまとめた。a、bに入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、それぞれ本文中から抜き出しなさい。ただし、aは八字、bは十七字で抜き出し、それぞれ初めの五字を書きなさい。

橋のたもとに立てられた立札の a に心を打たれた茂吉は、そのことばを b ことはせず、七句四十一音の新たな定例を作り出した。

3 とあるが、次のうち、このことばの本文中での意味として最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 後先を考えないで猛然と突き進むこと。
- イ 思考や行動が何にもとられず自由なこと。
- ウ 他に心を動かされず一つのこと集中すること。
- エ 長年受け継がれてきた伝統やしきたりを守ること。

4 本文中の㉔で示した歌について、筆者が述べている内容を次のようにまとめた。に入る内容を、本文中のことばを使って三十五字以上、四十五字以内で書きなさい。

「人ならば五人づつ」という五言一句が ところに、私たちがこの歌に強烈な短歌らしさを感じてしまう秘密がある。

配慮の
おの
で
へ
点
え
者
時
控
権
現
を
著
か
掲
ま

1 とあるが、次のうち、このことばの本文中での意味として最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア どこに集まるのがよいか
- イ 誰のせいでこうなったのか
- ウ どちらに基づくのがよいか
- エ いっ決められたもののなか

2 とは、「やはりそうでもない」という意味である。これは本文中ではどのようなことを表しているか。次のうち、最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 自分の説とは異なっている説を批判して、それを根拠のない説だと人に感じさせるのは、あってはならない行為だということ。
- イ 考えが食い違っていて一貫していない説に対して、全体的に根拠がない説だと考えるのは一概に妥当であるとは言えないということ。
- ウ 人の説を理解するときに、おおよそのことを理解したからといって、すべてをわかった気になるのはたいてい思い違いだということ。
- エ 自分の説が他の人の説と同じだからといって、自分の説のほとんどを変えようとするのは、賢明な選択であるとは言えないということ。

3 とあるが、本文中で筆者がこのように述べる理由を次のようにまとめた。a、bに入る内容を本文中から読み取って、現代のことばで書きなさい。ただし、aは十五字以上、二十五字以内、bは十字以内で書きなさい。

後になって a ことは、よくあることであり、また年月がたてば b ので、人の説は絶対に変わるものであるから。

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から
現時点での掲載を控えています。

2 とあるが、本文中で筆者が、「**二**」に則ったとき、建築家のつくる建築に特定の機能というものはないと述べるのはなぜか。その内容についてまとめた次の文の **一** に入る内容を、本文中のことは使って五十字以上、六十字以内で書きなさい。

建築家のつくる建築は、人や時代の変化も含めた **一** ことが大いにありうるから。

3 次のうち、本文中で述べられていることがらと内容の合うものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 今、我々の身の回りにある日用品や生活備品というものは、漱石の時代にはなかったものばかりであるが、それらは漱石の時代やその時代の人間の身体性とながりをもちつものである。

イ 電車というものを必要とし、電車の旅というものに快適性や居心地の良さを感じるような今の時代の人間にとって、漱石の時代の人間の尊厳というものは感覚的にしか理解することができない。

ウ 今の時代の自分達の身の回りにある様々なものは、人間の感受性や快適性、快楽というものが時を経て変化し、自分達の生活がそれらを求めるようになったことよってつくり出されたものである。

エ 携帯電話などの我々の周りにある諸機械の多くは、漱石には否定されそうなものばかりであるが、それらで溢れている今の時代の我々の生活にはある種の快適さや自由さや快楽のようなものがある。

4 「**一**」について、本文中で述べられている筆者の考えを次のようにまとめた。**一** a、**二** b に入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、それぞれ本文中から抜き出さない。ただし、**一** a は十字、**二** b は十四字で抜き出し、それぞれ初めの五字を書きなさい。

筆者は、人間の想像力をかき立てるような魅力を持った **一** a を理想としており、**二** b ことは、自分達の時代の価値観をつくる契機となつてゆくであろうと考えている。

【資料】

カタカナ語の例

カタカナ語	原語（もともになった外国語）の主な意味
コミュニケーション	伝達・意思疎通・通信手段
ポイント	論点・要点・目的・特徴・段階・地点・点数・先端
ニーズ	必要性・必要なもの
テンション	緊張・緊迫状態
リスペクト	尊敬・敬意
コンセンサス	意見の一致・合意

カタカナ語やカタカナ語の使用に関するさまざまな意見

- ・表現のかたさが和らぐ。
- ・人によって理解度が異なる。
- ・カタカナ語を使用しない方がわかりやすい。
- ・格好よくて現代風である。
- ・これまでにない物事や、和語や漢語では表しにくい微妙な意味合いを表している。
- ・多義性があり誤解や意味のずれを生むこともある。
- ・原語の意味とカタカナ語の意味とが異なる。

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から
現時点での掲載を控えています。

【資料】

カタカナ語の例

カタカナ語	原語（もともになった外国語）の主な意味
コミュニケーション	伝達・意思疎通・通信手段
ポイント	論点・要点・目的・特徴・段階・地点・点数・先端
ニーズ	必要性・必要なもの
テンション	緊張・緊迫状態
リスペクト	尊敬・敬意
コンセンサス	意見の一致・合意

カタカナ語やカタカナ語の使用に関するさまざまな意見

- ・表現のかたさが和らぐ。
- ・人によって理解度が異なる。
- ・カタカナ語を使用しない方がわかりやすい。
- ・格好よくて現代風である。
- ・これまでにない物事や、和語や漢語では表しにくい微妙な意味合いを表している。
- ・多義性があり誤解や意味のずれを生むこともある。
- ・原語の意味とカタカナ語の意味とが異なる。

1 本文中の A、D の —— を付けた語のうち、一つだけ他と口調の異なるものがある。その記号を○で囲みなさい。

著作権者への配慮から
現時点での掲載を控えています。

五 近年、外国との間の人・物・情報の交流の増大や、諸分野における国際化の進展に伴い、日本語の中での「カタカナ語」の使用が増大しています。カタカナ語の使用が増えていくことについてのあなたの考えを、別の原稿用紙に三百字以内で書きなさい。ただし、次の条件にしたがって書くこと。

（注）カタカナ語 Ⅱ 主に欧米から入ってきた外来語や日本で外来語を模してつくられた語で、カタカナで表記される語のこと。

条件 次の【資料】からわかることをふまえて、カタカナ語の使用が増えていくことについてのあなたの考えを書くこと。